

【参考】

十和田市事務事業評価 外部評価（事前評価）集計表

事務事業名	地域防犯活動支援事業	担当課	生活環境課
-------	------------	-----	-------

1. 事前評価の結果集計

検証項目	指摘事項
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯活動により、地域の犯罪が減少することは大変良いことでもあり、犯罪のない街として PR していくことは良いと思う。今後においても、防犯パトロールや啓発活動は必要だと思います。 ・「自助・共助・公助」による防犯活動は、「安全安心なまちづくり」のための実効性と貢献度が高く、大いに評価できる。 ・警察組織だけでなく、市が率先して市民の防犯意識を向上させ、防犯活動に参加させることは重要であり、その点で妥当である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪や事故のない、そして安全・安心のまちづくりには啓発活動を継続し、単に、団体への支援だけでなく、もっと多くの市民を巻き込んだ活動も必要ではないか。各種イベントでの PR 活動など・・・。 ・防犯協会の存在の理解を深化させるためにも、主体的な事業の発案や実施、組織の活性化を図り、活動の形骸化をさせない工夫や事業が効果的に実施されているか、成果を示す客観的な指標も必要と思われる。 ・地域住民の防犯意識の啓発、犯罪企図者の抑止力を高めるための新たな手段の改善も必要と思われる。 ・地域により、住民の年齢構成や防犯意識が異なると思われる。市内で、町内の人口に対する犯罪率などの数値、犯罪発生数の経年変化などを把握して、防犯活動の重点化などを行っているのか不明な点があるので、情報を頂きたい。 ・助成している各団体の活動は、費用に見合った内容となっているか。マンネリ化した助成事業となっていないか。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・団体への委託及び補助金の交付のみに終わるのではなく、次へのステップも必要と思われます。市民への浸透の仕方。 ・各団体に共通して所属している個人が多いと思われるので、一つの団体にまとめて、グループに分けて、総会などは一回で終わるようにしたら、予算も減額できるのではないか。 ・地域住民の防犯意識啓発活動の活性化を図り、ボランティア団体の啓発、育成、支援を図る。 ・事業内容がイベント開催による啓発活動にかたより形骸化している。日常的な防犯活動指標の設定、検証、活動内容の工夫や充実等改善をする。 ・長い歴史の上で、警察組織や防犯協会との関係が良好に築かれているものと思われるので、これ以上のことは望めないかもしれないが、大学に通う学生を防犯活動に関わらせることを行っているのか、他の地域の状況も含めて、情報があったら教えてください。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭での活動は良いことだと思いますが、十和田市には、多くの町内会・各種団体があります。その町内会や各種団体を通じての PR 活動、たとえば各町内会や各種団体の総会に市の担当者が出向き「犯罪のないまちづくり」の PR 活動を行うとか。 ・役員と活動される方の人数が変わらないのは問題ではないか。 ・住民一人ひとりが施錠、あいさつ、異常な状態や不審者の気づきや発見、声の掛け合いの励行等防犯意識を持てるように啓発を図り、積極的に防犯活動に従事するものだけに負担がかかり過ぎないように工夫をする。 ・目には見えなくとも、得られる成果は市民が共通に享受できるものであり、問題ないとする。
事業の方向性	<p>さらに重点化を図る ■■</p> <p>現状のまま継続</p> <p>有効性を改善して継続 ■■■</p> <p>効率性を改善して継続 ■■■</p> <p>公平性を改善して継続 ■■</p> <p>事務事業の統廃合を図る</p> <p>休止</p> <p>廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で進めているイベント等に防犯団体等が関わらないのは防犯の位置づけとして弱いのではないか。人が集まる犯罪の機会が増すと考えられるが。 ・ボランティアをされている方々は、年々高齢化していくので、これからそのことを含めて警察、行政は支援をしていただきながら、セーフコミュニティ推進の十和田市なので、さらに防犯活動を進めていただきたい。 ・〈県防協連では、賛助会員脱退による活動資金減少のため、財政的に逼迫の現況。今後の委託及び補助のための持続的な財源の確保に危惧〉 類似関連事業との連携によって、” 成果の向上、安定と経費削減” の推進をしながら、地域住民、組織が協働で課題を見つけ、実効性の高い防犯活動の実施と充実を図る。 ・ほぼ定常的に活動が行われており問題ないようにも思われるが、犯罪発生数の統計などや傾向を把握して、改善することが望まれる。そのために予算が多少ふくらむことは必要なことと考える。 ・助成ありきの活動となっていたとすれば、有効性の検証など、有効性を見直す必要がある。

2. その他質問・提言等（活動指標、成果指標の設定の仕方について等）

	<ul style="list-style-type: none">・先日インターネットに三番街での暴力事件が投稿され、全国に映像が流れました。たまたま流れたとしても、大変多くの反響があり、十和田市のイメージダウンとなりました。今後このような事が起こらないようにと思いながら、今は何でもありの時代なので、どのようにしたらよいのかと思っております。・春の太素祭、花火大会、秋祭り等、学童が友達と出かける機会があると思います。各学校、小・中・高 PTA と連携して防犯強化を図っては、と思います。・質の高い防犯活動と経費削減の実現のために、<ul style="list-style-type: none">①住民参画を伴う部門横断的な協働を基盤とし、科学的評価と PDCA 効果の高いシステムを持つ「セーフコミュニティ」との連携を図ることによって、成果の向上、安定とコスト削減が可能となる。②地域住民の自主防犯活動の活性化と充実を図るために、既存の「セーフコミュニティ十和田をすすめる会」との連携をしたり、ボランティア団体活動の啓発、育成、支援を図ったりする。・【質問】<ul style="list-style-type: none">①犯罪発生現況と発生マップの有無 ②「子ども 110 番」家、車への緊急、避難事例現況③青色回転灯防犯車の装備と配車の現況 ④県警メールマガジンとのリンク⑤AMマーク認証シール（ AM マークは、パチンコ店に設置されているパチンコ・回胴式（スロット）遊技機が、公安委員会の検定を受け、不正改造等が行われていない適正な遊技機であることを証するマーク）・立ち入り検査の現況。自転車防犯登録料の配分問題（※市の財源と関係がなければ回答は不要）。
--	---